

品質方針

丸善雄松堂株式会社 建築技術本部 東日本デザインセンターは、当社経営理念に基づきこれまで培ってきた知的資産をもとにすべてのお客様に対しサービス(=知)を提供します。

施設の利用者、管理運営者双方の視点からお客様に満足頂けるソフトウェア・ハードウェアを供給することで社会に貢献することが自らの責務と考え、以下4つの基本方針のもとに行動致します。

- 1 顧客満足度の高い施設環境・空間づくりの提案**
発注者や使用者の視点に立ってニーズを捉え、企画・設計を通して最適品質の環境・空間を提案し、顧客と社会の評価を得る。
- 2 技術力を生かすことで高品質の実現**
 - 1) 利用者が安全で利用しやすいこと ~人にやさしい配慮~
 - 2) コストバランスがよいこと ~経済性の配慮~
 - 3) 維持管理が容易で耐久性があること ~イーजीメンテナンス・ロングライフ設計~
 - 4) 法律及びその他の要求事項を守ること ~遵法性~
 - 5) 限られた資源と地球環境に配慮すること ~エコ・リサイクル設計~
- 3 専門技術・資源の確保**
最適品質実現のための最新情報の収集。品質向上・コストダウンの為の設計・施工技術の練磨と高度技術の習得を図るための社員教育の実施とその適材配置。
- 4 リスクマネジメント、コンプライアンス**
事故の発生を抑え、発生時においても適切な処置を行い、品質への影響を抑える手続きを策定し、これらの処置、手続きの策定、コンプライアンスを重視したプロセスによるものとし、これによって社会的責任を果たす。

上記を行動規範とし、事業活動においてマネジメントシステムを確立し、継続的改善を行います。活動は目標を定め、計画的に実施し、評価を行い、定期的に見直しを行います。

この方針は、丸善雄松堂株式会社建築技術本部長が全責任を持ち、建築技術本部東日本デザインセンター全員に徹底するとともに、一般の方々にも公開致します。

2017年2月1日

丸善雄松堂株式会社 建築技術本部長

堀田 哲史